世代別・職業別タウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：みんなで支えあおう！地域で元気で！』　平成28年9月30日（金）14：00～

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ☆ | 意　見　の　内　容 | 対応可能性と  対応時期 | 対応策または  不可能な理由等 | 担当課 |
| 1 | 古川町では大学生と一緒に健康体操をつくり、まちの活性化に貢献してもらっているが、地域貢献活動を学生が学ぶカリキュラムの中に取り入れるよう大学へ働きかけてみてはどうか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、まちづくりの人材を育成する「地域づくり支援セミナー」を愛媛大学と共同で開催したり、まちづくり協議会が取組事例を発表する「地域力パワーアップ大会」を今年度は松山大学で開催するなど、大学との連携を進めており、これらを通じ、学生が地域貢献活動に関わるきっかけになるよう取り組んでいます。  また、各大学では、現在、地域課題の解決を図ることができる人材育成に努めるなど、地域・社会貢献に取り組んでいます。  こうした取組を授業・カリキュラムで実施するかどうかについては、大学側の判断になりますが、松山市は市内にあるすべての大学・短期大学と協定を締結しており、防災や子育て支援、観光振興など、様々な分野で連携していますので、今後も地域の活性化に協力していきます。 | 市民参画まちづくり課  芳野　篤史  089-948-6963  企画戦略課  生田　真太朗  089-948-6212 |
| 2 | 松山市では福祉分野の学生の活用について、考えを聞かせてほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市ボランティアセンター職員が４大学（愛媛大学・松山大学・聖カタリナ大学・松山東雲女子大学）を訪問し、ボランティア情報や福祉に関する情報を提供するとともに、ボランティアを依頼される方と学生とのマッチング等を行っており、「えひめ国体」、「全国障害者スポーツ大会」のボランティアスタッフや、松山市社会福祉協議会が実施するイベント、赤い羽根の街頭募金活動等にご協力いただいています。  松山市では、今後も市社会福祉協議会と連携し、学生のボランティア活動への理解や参加を促進します。 | 高齢福祉課  松田　和人  089-948-6410 |
| 3 | 認知症の理解を深めてもらうために、松山市は今後どのような啓発をして理解者を増やしていくのか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を養成するため、認知症サポーター養成講座を開催する際、地域包括支援センターの職員を講師として派遣するなどの支援を行っています。  また、小中学校で認知症に関する学習を取り入れてもらえるよう各学校へ養成講座の周知を行っているほか、広報まつやま、市ホームページ、介護情報フェアなどの各種イベント、市民への介護保険制度の説明会などでも啓発を行っています。  今後も、より多くの方に認知症に対する関心を持っていただけるよう積極的に周知・啓発を行っていきます。  なお、講座は町内会や職場・学校など１０名以上のグループからの申込みにより実施していますが、お一人から参加ができる市主催の講座を平成２８年度は１２月２０日に開催します。申込方法や時間など詳しくは広報まつやまや市ホームページでお知らせしますので、多くの方に受講していただければと思います。 | 介護保険課  白石　京子  089-948-6949 |
| 4 | 高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりのため、介護・病院等の施設職員に対する研修が重要であると思うが、支援や啓発についてどのように考えているのか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では愛媛県が関係機関と連携し開催している介護職員技術向上講習会や新任職員研修会などを事業者連絡会で周知を行っているほか、民間の講師を招き介護従事者等を対象に技術の向上などの研修を毎年６回程度開催しています。  今後も介護職員の離職防止や介護技術の向上などにつながる研修会の開催や情報提供を行い、介護人材の育成と支援に取り組んでいきたいと考えています。  また、医療安全に関する理解、院内感染予防の知識を医療機関の職員に深めていただくことは、非常に重要であると考えていますので、引き続き、医療安全対策講習会や結核予防講習会などの研修を開催していきます。 | 介護保険課  濱本　賢二  089-948-6968  医事薬事課  亀田　真美  089-911-1805 |
| 5 | 久米地区で孤食対策事業として「ふれあい食堂」を実施しているが、公民館の2階まで階段で上がることができない高齢者の方がいるので、会場として利用できる場所の情報を提供してほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 「ふれあい食堂」の実施には、駐車場や調理室のスペースの確保が必要になりますので、現状の教育施設では地元公民館しか適当な施設がありませんが、高齢者の方々や階段の利用が困難な方にはボランティアスタッフとともにサポートしますので、ご理解いただきたいと思います。  なお、久米地区には高齢者の福祉の増進を図るための施設として鷹子老人福祉センターがあり、エレベーターを設置しています。利用できる方の年齢や使用料等の詳細は、高齢福祉課へお問い合わせください。 | 地域学習振興課  大内　平臣  089-948-6918  高齢福祉課  渡部　通子  089-948-6408 |
| 6 | 地域交流サロンを運営しているが、開催の回数を増やしたいと思っているので、費用面や活動場所の確保で協力をしてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 共同募金配分金を活用している地域交流サロンは、地域の高齢者、障がい者、子育て中の親子等が気軽に集まり、ふれあいを通して仲間づくりの輪を広げ、また地域の情報交換や地域学習の場になっています。  地域交流サロンの活動場所として公民館を利用される場合は、使用料がかかりませんので、使用については引き続き公民館へご相談ください。 | 高齢福祉課  松田　和人  089-948-6410 |
| 7 | 建設業界では高齢になって現役を引退しても元気な方が多くいるので、高齢者世帯の家具の倒壊防止対策やブロック塀や屋根瓦のチェックをするシステムづくりができないか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | 家具等の固定対策については、市内全戸配布の防災マップや、防災に関する各種イベントなどで、転倒防止対策の必要性と有効性について周知・啓発を行っています。  熊本地震の被害状況からも明らかになったように、自らが命を守ることのできる、簡易で有効な防災対策になりますので、今後も引き続き周知・啓発に努めていきます。  また、障がいのある方や、高齢者等の避難行動要支援者宅への個別の支援は、民生児童委員、独居高齢者みまもり員、自主防災組織等の近隣協力者や、松山市と災害時応援協定を締結する民間事業者等と連携し、他市の状況を参考にして検討します。 | 危機管理課  池田　篤司  089-948-6794 |
| 8 | 企業の社会貢献活動を通じて地域福祉の推進に協力していきたいので、各地域の紹介や具体的な地域活動について情報提供をしてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 市内の各公民館で組織されている「松山市公民館連絡協議会」のホームページに、各公民館の主要年間行事と月間行事を掲載していますので、ご確認いただければと思います。  なお、各活動への参画方法などは、活動の内容により異なりますので、直接、各公民館へお問い合わせください。  【参考】松山市公民館連絡協議会ホームページ  <http://www.matsuyama-people.jp/index_2.html>  松山市では、まちづくり協議会通信「つなぐ」やフェイスブック「松山市まちづくり協議会情報局」で各まちづくり協議会の活動を情報発信しています。また、各地区のまちづくり協議会にも、ＳＮＳなどを通じて地域活動の情報を発信しているところもありますので、詳細については、市民参画まちづくり課にお問い合わせください。  【参考】フェイスブック「松山市まちづくり協議会情報局」  外部サイトへリンク　新規ウインドウで開きます。<https://www.facebook.com/machijoho> | 地域学習振興課  大内　平臣  089-948-6918  市民参画まちづくり課  芳野　篤史  089-948-6963 |
| 9 | 介護保険制度のサービスでは支えきれない部分が多く、高齢者支援のためには自助、共助、公助を踏まえたささえあいの地域づくりが必要であると思う。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 松山市では、介護保険制度のサービスでは対応できない高齢者の世帯を対象に、緊急通報装置の設置や配食サービス事業、乳酸菌飲料をお配りする愛の一声訪問事業などを実施し、高齢者の見守りや家族の負担軽減に努めています。  また、避難行動要支援者支援対策事業として、災害時に被害を受けやすい高齢者などの安否確認や避難誘導への協力など、「地域で助け合う」仕組みづくりに取り組んでいます。  松山市としては、さらなる制度の周知を図りながら、民生児童委員や松山市社会福祉協議会など関係機関や団体と連携し、高齢者の方が長年住みなれた地域で安心して暮らしていくことができるように引き続き高齢者福祉サービスの推進に努めていきます。 | 高齢福祉課  渡部　通子  089-948-6408 |
| 10 | 高齢者の支援をする際には、職員だけでなくボランティアを受け入れる場合も倫理教育に力を入れていただきたい。また、倫理基準や価値基準を学んでもらうことを提案したい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 松山市ボランティアセンターが開催している傾聴ボランティア養成講座、災害ボランティア養成講座、おもてなしボランティア養成講座などでは、高齢者や障がい者に配慮すべきことを研修内容に組み込んでいます。  今後も分かりやすい研修を実施して、ボランティアの資質向上に努めていきます。 | 高齢福祉課  松田　和人  089-948-6410 |
| 11 | 道後温泉の廃棄浴衣を利用して、クッション・トートバック・名刺入れの小物づくりを高齢者の仲間と行っているが、指先を使うことで認知症の予防につながり、生きがいを感じているので、商品をもっと作成できるよう支援してほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 道後温泉本館の古くなった貸浴衣を再利用した商品は、作成していただいている高齢者や障がい者の皆様の丁寧な作りが好評で、本館を訪れる多くのお客様に購入いただいています。  平成２６年９月に第１弾となる「おじゃみクッション」の販売を始めて以降、トートバッグやカードケースなど商品の種類も増え、平成２８年９月にはブックカバーとコースターの販売も始めました。  新商品販売開始の際は、松山市から報道各社に情報提供を行ったり、道後温泉本館内の売店では広告スタンドを置いてＰＲするなど、販売数の向上を図っており、今後も多くの方にご購入いただけるよう情報発信に努めていきます。 | 道後温泉事務所  柴田　仁  089-921-5141 |
| 12 | 地域の高齢者と子どもが交流する読み聞かせをしているが、他の地区でも広がってほしいので、経費や絵本の運搬方法で協力してほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 松山市社会福祉協議会と地区社会福祉協議会がふれあい・いきいきサロンと連携し、保育園、幼稚園、小学校での読み聞かせ活動を実施していますので、絵本の貸し出しの増冊や読み聞かせ活動の推進は、松山市社会福祉協議会（℡：089-941-3828）へご相談ください。  なお、松山市では、読み聞かせ活動が認知症の予防や世代間交流として効果が見込める事業であると考えており、松山市社会福祉協議会と連携しながら周知啓発を行っています。 | 高齢福祉課  松田　和人  089-948-6410 |
| 13 | 民生児童委員を引き受けていただける方が非常に少なくなってきており、地域福祉サービス事業の協力会員を増やすことで後継者の人材育成につなげていきたいと思っているので、民生児童委員の確保と地域福祉サービスの充実強化に向けた取り組みや支援をしてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 地域福祉サービス事業については、ホームページを活用した事業周知や、市社会福祉協議会・地区社会福祉協議会の活動を引き続き支援していきたいと考えています。  また、民生児童委員の確保については、まず、役割や活動を広く市民に知っていただくことが重要であり、今後もホームページをはじめ、地域からご要望があれば協力会員研修会にお伺いするなど、様々な方法で活動の周知に努めます。 | 生活福祉総務課  川崎　俊彦  089-948-6397 |
| 14 | ふれあいいきいきサロンのように高齢者が気軽に集まり介護予防を実施する場所が必要である。松山市でサロンを実施する場所を確保するなど支援をお願いしたい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | サロンの実施場所は、各地域の公民館や集会所など各グループで集まりやすい場所を決めていただいており、サロンの活動費として会場費などの支援を行っています。  今後も、健康づくりや介護予防に市民の皆さんが主体的に取り組んでもらえるよう引き続き実施していきます。 | 介護保険課  髙市　真也  089-948-6840 |
| 15 | 高齢の障がい者の方は、人との交流の機会が少ないような気がするので、子どもたちや地域の方と交流する機会が増えればいいと思う。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 障害者支援施設では、地域の方も参加できるイベント等を開催しているほか、大学生の介護実習や中学生の職場体験、児童・園児らの施設見学の受け入れ等によって、障がい者の皆さんの交流機会を創出しています。また、地方祭や町内会・公民館の催しや防災訓練など、地域行事への参加も積極的に行っているほか、買い物や余暇活動等、在宅の方と変わらない社会活動を日常的に行えるよう、施設職員の皆さんが工夫されています。  松山市でも様々な機会を捉え、地域に開かれた施設で、皆さんが気軽に社会参加できるよう、引き続き、働きかけます。  また、各公民館では、もちつき大会や環境美化活動などを通して、多くの世代が交流する事業を行っています。  今後も世代を超えて地域の皆さんの結びつきが強まるよう、それぞれの実情に合わせた取り組みを進めていきます。  なお、参加される方の状況により、必要なサポートも異なるものと思われますので、配慮が必要な場合は、各公民館へお気軽にご相談ください。 | 障がい福祉課  竜子　浩之  089-948-6849  地域学習振興課  大内　平臣  089-948-6918 |
| 16 | 地域力の向上と地域の活性化に繋がる活動をするために、技能を持った高齢者も参加してほしいので、人材発掘に向けた取り組みについて、行政も協力をしてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 松山市では、退職前からこれからのライフプランを考える上で、市民活動やボランティア活動などにも目を向けていただき、様々な活動に参加するための仲間づくりや始めるきっかけづくりを目的に、毎年「松山市生涯現役交流集会」を開催しています。  交流集会では、今まで培ってきた技能を発揮したり、何か目的をもって始めようとする気持ちを形にできる場所として、様々な団体がブースを出展しています。なお、交流集会の詳細についてご質問があれば、実行委員会事務局のまつやまＮＰＯサポートセンター（℡：089-948-5790）までお問い合わせください。 | 市民参画まちづくり課  大野　陽平  089-948-6330 |
| 17 | 保健センター南部分室に調理室がないので、不便である。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 「保健センター分室」の位置付けは、平成１７年の合併の際に、旧北条市・中島町の保健センターを、松山市保健センター（萱町保健所）の補完機能を持つ北条分室・中島分室として設置したため、調理実習を伴う事業は保健センターに集約して実施することになりました。  保健センター南部分室は、平成２０年に児童センターを併設した複合施設として整備しましたが、分室として設置したため、調理実習室は設けていませんので、地域の公民館をご利用ください。 | 健康づくり推進課  清水　真也  089-911-1810 |
| 18 | 砥部動物園まで鉄道を引いてほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 市内から砥部町方面には、伊予鉄道森松線が昭和40年代まで通っていましたが、当時、採算性などからバスに転換した経緯があります。  森松線の復活や新たに鉄道を整備することは、民営、市営に限らず、難しいと考えています。 | 都市・交通計画課  辻田　幸生  089-948-6479 |